

海田東小学校 建替だより

Vol.5 発行年月日：令和7年3月26日

発行者：海田町教育委員会

第2回海田東小学校校舎建替地域ワークショップを開催しました

3月12日（水）に町民センターにて第2回ワークショップを開催し、海田東小学校の先生や保護者、地域住民の方々あわせて、23名の方にご参加いただきました。ワークショップでは、「配置・ゾーニング計画について考える」をテーマにグループワークを行い、活発に意見を出し合っていました。

1 ワークショップで話し合ったこと



新校舎の配置や、ゾーニングなどについて、多くの意見が出ました。

<意見で出た観点>

- ・児童にとっての校舎の環境、利用のしやすさ
- ・給食室の音、におい
- ・教室の向き（北側配置、南側配置）
- ・工事期間中、新校舎完成後のグラウンドの利用
- ・災害対策、避難のしやすさ
- ・体育館へのアクセス
- ・正門から昇降口へのアクセス
- ・駐車スペースの確保
- ・近隣の住宅への配慮（音、視線、風、日当たり、圧迫感、砂ぼこり、工事の振動）

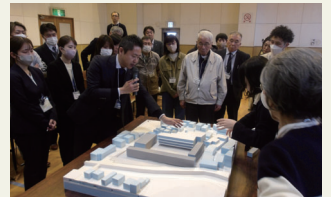
今回出た意見も含め、様々な要素を総合的に判断した上で、新校舎の配置やゾーニング、概算事業費等を盛り込んだ基本計画を策定します。

2 当日の流れ

1. あいさつ・前回ワークショップの振り返り（15：00～15：10）



2. 配置計画・ゾーニング計画案について（15：10～15：20）



3. グループワーク

（15：20～16：10）



4. 発表・総括

（16：10～16：30）



3 各配置・ゾーニング案の概要

- A 案：現校舎側配置（仮設校舎あり）、普通教室南向き
- B 案：現グラウンド側配置（仮設校舎なし）、普通教室北向き、近隣住宅と近接
- C 案：現グラウンド側配置（仮設校舎なし）、普通教室北向き、近隣住宅との間に駐車場整備

4 参加者（各テーブル）から出た主な意見

A グループ



- ・ A 案は三迫川の風を校舎に取り込めるような配置で、教室が南向きであり、水害対策の観点からも良いのではないかと。
- ・ B 案は近隣住宅との距離が近く影響が大きい。
- ・ B 案、C 案は正門から昇降口までが遠い。
- ・ C 案は工事中、完成後のグラウンドが狭い。
- ・ 校舎は環境の良い場所に建て、子どもたちにとって最適なものをつくってほしい。例えば、西側の隣地境界に沿って南北に長い校舎を建ててはどうか。

B グループ



- ・ B 案はグラウンド、校舎の形がきれいで移動しやすく、教室の位置が覚えやすい。
- ・ B 案は正門から教室までが遠い。
- ・ B 案、C 案は近隣住宅にとっては、目線（見下ろし）や日当たりが気になる。
- ・ B 案、C 案は普通教室が北向きで、近年の猛暑を踏まえると涼しくて良いのではないかと。
- ・ C 案は展望デッキからグラウンドを見渡せるようになっており、運動会等で活用できる。

C グループ



- ・ B 案、C 案は近隣住宅の風・音・日当たりなどへの影響が気になる。
- ・ C 案は近隣住宅への砂ぼこりを抑制できるのではないかと。
- ・ C 案で校舎と近隣住宅との間に一定程度の距離をとっても、圧迫感等の影響に差はあまりないのではないかと。
- ・ 近隣住宅の方々の理解を得ながら進めていくことが大切である。
- ・ 仮設校舎の使用はできる限り避けたい。

D グループ



- ・ A 案は砂ぼこり、風が気になるが、民家から離れている点が良い。
- ・ B 案は校舎の形がきれいで使いやすそう。
- ・ B 案は近隣住宅との距離が近く、工事の振動が気になる。
- ・ C 案は住宅地との間に駐車場スペースがあって良い。
- ・ C 案は給食室や残飯のにおい、給食配送車の動線が気になる。
- ・ 近隣住民としては、配置案を考えるに当たっては、音、砂ぼこり、圧迫感が気になる。

5 今後のワークショップの予定

- 第3回（予定） 令和7年5月
テーマ（仮）「学校図書館の使い方について」「新校舎の特長にしたいこと」
- 第4回（予定） 令和7年6月
テーマ（仮）「屋内の計画について」「屋外の計画について」
- 第5回（予定） 令和7年10月
基本設計報告会

■お問い合わせ■

海田町教育委員会事務局 学校教育課 校舎建替推進チーム
TEL：082-823-9216
FAX：082-823-9256
Mail：gakkyo@town.kaita.lg.jp